

TypeQuick 実技試験について

タッチタイプ能力はリテラシーの中でも最低限の条件なので、目標の成績に達しない場合には当該科目の単位が与えられないので注意してください。授業では試験が複数回予定されていますが、後になるほどクリアのための合格条件は高くなります。

日程：

- 原則として6月上旬の授業にて第1回の実技試験をおこなう。

※ クラスの授業進度により日程が異なるので担当教員の指示に従うこと。また、第2回以降の試験日程も担当教員が指示する。

受験資格：以下がクリアされている場合に受験資格が与えられるものとします。

- レッスン進度：「英字コース キーボード練習(標準)」の全てのレッスンを完了していること(全レッスンを20WPM, 90%以上の成績でクリアしていることが望ましい)。

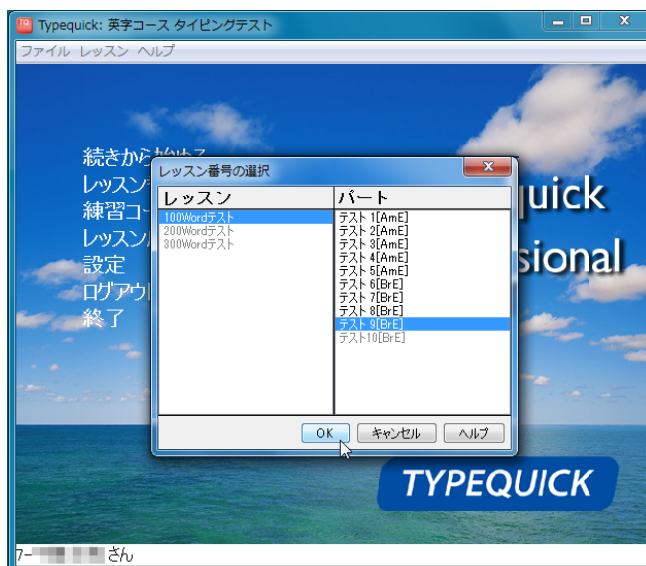
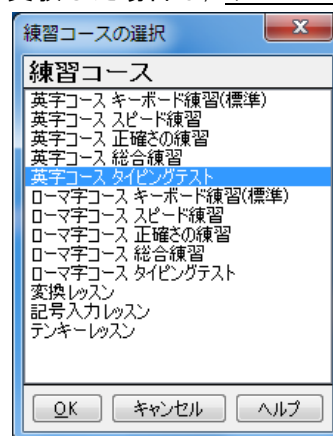
※ 「英字コース キーボード練習(標準)」のレッスンを完了せずに受験した場合は、テストで目標値を満たさず場合でも合格とは認めないので注意。

試験内容： 【クラスによって異なります】

- TypeQuick メニューの「練習コースの選択」を開き、「英字コース タイピングテスト」を選択します。(標準の「キーボード練習」に戻るには再度練習コースを選択してください。)

※ 外国語学部の TypeQuick 実技試験の判定は原則として英字コースにておこないます。ただし、教員が相当の理由があると認めた場合に限って「ローマ字タイピングテスト」での受験を認めることがあります。

- 試験はタイピングテストの「100Word テスト」の10のパート(「テスト1」～「テスト10」)の中から2つを指定して行います(当日教員が指示します)。「レッスン番号の選択」ダイアログボックスで指定されたパートを選択し、「OK」ボタンを押すとテストが開始されます。



【参考】 テストのパート名の最後にある[AmE]と[BrE]は、そのパートのテキストがそれぞれアメリカ英語、イギリス英語であることを表しています。アメリカ英語とイギリス英語は正書法が異なるので、綴りや記号の使い方が異なります。自分が学習し、慣れているほうの英語でタイピングテストを受験するとよいかもかもしれません。

- 受験が終了し結果が表示されたら「終了」をクリックしてメニューに戻ります。
- 別のパートを受験するには TypeQuick メニューの「レッスン番号の選択」を開きます。

結果の整理と提出物：

以下の方法で提出します。よく読んで作業すること。

※ 授業で指示された試験時間中に2つのパートが終了しなかった場合は2つ目をキャンセルし、最初のパートの結果のみ提出してください。(この場合、成績記録をつけるのみで合格とは判定しません。)

1. 試験終了後「レッスン成績」を開き、最後におこなったレッスン (タイピングテスト) の正解率(%)とスピード(語/分)が表示されていることを確認する (次ページ図参照)。

1 ↓ レッスン	2 ↓ パート	正確率	語/分	時間	最後のレッスン完了日
100Wordテスト	テスト3	100.0	66.1	000:02	2013-05-30 07:25
100Wordテスト	テスト2	100.0	59.3	000:02	2013-05-30 07:16
100Wordテスト	テスト1	99.6	65.5	000:02	2013-05-30 07:14

成績一覧 キーレポート 印刷 ヘルプ 閉じる

結果 7-

列の幅が狭くレッスン成績の詳細が隠れている場合はマウスで列の幅を適宜広げてから印刷すること (右図参照)。

1 ↓ レッスン	2 ↓ パート	正確率	語
100Word	テスト3	100.0	66.1
100Word	テスト2	100.0	59.3

列の幅をマウスで変更

2. 「印刷」ボタンを押しレッスン成績を FinePrint に表示させる (まだ印刷しないこと) †。
3. メニューに戻り、「練習コースの選択」で「英字コース キーボード練習(標準)」を選択する。その後の「レッスンの選択」はキャンセルして、いったんメニューに戻る。
4. 「レッスン成績」を開いて「印刷」を選択し、「英字コース キーボード練習(標準)」のレッスン成績を FinePrint に表示する。
5. FinePrint の画面で「レイアウト」機能を使ってタイピングテストとキーボード練習(標準) のレッスン成績を A4 用紙に 2 ページのレイアウトにまとめ、「印刷後閉じる」ボタンを押し印刷する。
6. 印刷終了のメッセージがデスクトップに出たらプリンタから印刷結果を回収する。
7. 印刷結果に、テスト実施日、学籍番号、氏名、受験結果と練習状況の自己分析を記入して提出する。

※ 必要に応じ他の練習コースのレッスン成績も印刷して提出してください。

合否判定について：

本テストの合格基準は【タイプ速度 30WPM 以上かつ正答率 90%以上】とします。ただし、早目に練習に取り組んだ人に対する努力を評価し、第 1 回のテストは【タイプ速度 26WPM 以上かつ正答率 85%以上】、第 2 回のテストは【タイプ速度 28WPM 以上かつ正答率 87%以上】で合格とします。

なお、第 1 回目のテストでは受験した 2 つのパートのうちいずれか成績のよい方のスコアで合否を判定しますが、第 2 回目以降は 2 つのパートの成績の平均をもって合否判定します。

以上

† レッスン成績の印刷方法については、第 5 回の授業の資料で説明済み。